

第12次愛知県職業能力開発計画の策定に向けた議論のポイント

(1) 第11次愛知県職業能力開発計画の進捗と評価【資料4】

第11次愛知県職業能力開発計画（現行計画）に基づくこれまでの取組をどのように評価するか。また、その結果等を次期計画の政策の方向性にどのように生かしていくべきか。

(2) 次期計画の施策の方向性について【資料5、6】

上位計画である次期あいち経済労働ビジョンの骨子（案）では、「政策の方向性IV 多様な人材の活躍と地域産業を支える人材の育成」において、デジタル人材・モノづくり人材の育成や技能振興、キャリア教育、リスキリング・スキルアップなど職業能力開発施策が位置付けられている。

こうした上位計画における政策の方向性や、職業能力開発を巡る社会経済情勢の変化を踏まえ、次期計画ではどのような施策の方向性が考えられるか。

次期あいち経済労働ビジョンの骨子（案）【愛知県経済産業局】

＜政策の方向性IV 多様な人材の活躍と地域産業を支える人材の育成＞

- ・イノベーションを生み出すための人材
- ・デジタル人材・モノづくり人材の育成
- ・技能五輪大会の開催等を契機とした更なる技能振興
- ・キャリア教育の推進とリスキリング・スキルアップの支援

(3) 施策の到達目標について【資料4】

現行計画においては、以下の7つのアウトカム指標を設けているところであり、目標達成に向けて概ね順調に推移しているところである。

次期計画ではどのようなアウトカム指標が考えられるか。

＜現行計画のアウトカム指標＞

- ①労働力人口の全国シェア
- ②労働力率
- ③若者(25歳～44歳)の完全失業者数
- ④女性(25歳～44歳)の労働力率
- ⑤高齢者(65歳以上)の労働力率
- ⑥民間企業における障害者の法定雇用率達成
- ⑦技能検定合格者数